



旭だより



発行：旭行政区長 編集：旭行政区広報部 2020年7月1日号

【区長から皆さまへ】

区長 谷田 修

「行政区需要調査」について

毎年度、この時期に需要調査を行い、区民の皆さまから、さまざまなご要望やご意見をいただいております。個人ではなかなか実現が難しい要望を、行政区で分類・整理し、**行政区からの要望として市の協働推進課に提出**します。

協働推進課は、この要望ごとに各担当課にその回答を依頼します。予算を必要とするものは、各担当課で3年度の予算要求にあげるかどうかその対応を協議して進めますが、その緊急の度合いによっては**今年度の補正予算等での対応が認められる**場合もあります。

また、信号機や横断歩道等の交通施設に関するものは、愛知県警（公安委員会）の判断になりますので、市からそちらに回答を依頼します。

市全体ではたくさん寄せられたご要望について、緊急性や重要性を総合的に勘案して優先順位がつけられるわけですが、今回は実現が難しいとされた要望でも、**行政区としてぜひ認めていただきたい要望は、複数年度にわたり依頼してまいります**のでよろしくお願いいたします。

◎各行事の開催予定

7月 夏祭り	延期して「秋祭り」として実施（11月を予定）
8月 いいじゃん祭り	中止
9月 敬老祝賀会	会合形式の形はとらず、お祝いの品を贈呈予定
10月 体育祭	中止

【いきいきクラブだより】

旭いきいきクラブ会長 筑尾 彰二

7月も三密回避を徹底し、次の行事を実施致します。

行事名	日付	場所	時間	責任者
① 定例会	7月2日（木）	旭の家 室内レク広場	10時	筑尾さん
② 談話会	7月16日（木）	旭の家 室内レク広場	13時	筑尾さん
③ ボッチャ	毎週土曜日	旭の家 室内レク広場	10時	宮嶋さん
④ 麻雀	毎週火曜日	旭の家	10時	永田さん
⑤ 囲碁	毎週金曜日	旭の家	13時	酒井さん
⑥ カラオケ	第2と第4の月曜日	旭の家	13時	平川さん

☆いきいきクラブ入会募集中です。

申込書は6月の回覧に添付しています。集会所にもありますので、是非ご覧ください。

【児童厚生員だよ！】

◇7月の工作のお知らせ(無料)

エッグポマンダーを作ります。
都合のよい日にお友達をさそって作りにきて
ください。

時 間：14時30分～16時30分

場 所：旭集会所

対 象：小学生(未就学児は保護者同伴で可)

持ち物：てさげバッグ(工作を持ち帰るため)

7月カレンダー(×の日は休館日)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	※6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※6日(月)は会議のため、戻り次第
開館します。

卵の殻の中にポップリ
を入れて香りを楽し
むものです。



◇スライム作り

日にち：7/29(水)、30(木)、31(金) 1日1回限り

スライム作りの日は汚れてもよい服装で来てください。



◇集会所利用にあたってのお願い

- 集会所利用時は必ずマスクを着用し、手のアルコール消毒をお願いします。
- 検温をしてきてください。(自分や家族の体調が悪い時は利用を控えて下さい。)
- 人数は6人程度、30分程度で人との間隔をあけて工作や遊びの利用制限をします。
- タオルとお茶かお水の入った水筒を持たせて下さい。

【子ども会情報】

いつも子ども会活動のご理解、ご協力ありがとうございます。

学校が始まり、子どもたちも新しい環境に慣れてきた頃でしょうか。

通学路に、公園に、子どもたちの元気な姿や声が聞こえてくると何だか嬉しくな
てきます。

今後の子ども会活動につきましては、子どもたちの安全を第一に考えて学校行事に
水準を合わせながら進めて行きたいと思っております。

その時は、また改めてお知らせ致します。

楽しい活動が再開できる日を楽しみにしています。



三好丘旭の始まりをたどる

開拓者の子ども世代の方々の
お話と「旭あじさいクラブ」
の資料を参考にしました。

三好丘旭は最近の新築ラッシュにより、新しいお仲間が増えました。

旭の始まりは昭和16年、当時名古屋市西区吹上にあった名古屋刑務所の受刑者による農場の開拓。昭和33年には長野県三岳村から移住者があり、続く福谷や豊田など他地域からの移住者も加わって開拓が進み、さらに住宅地として姿を変えてきました。

入植からニュータウン街開きまで

昭和16年	福谷下り松の山林を名古屋刑務所が借り受け開墾開始
昭和33年	牧尾ダム建設に伴い長野県三岳村から7戸が福谷下り松に移住
昭和34年	三好池完成
昭和36年	愛知池が完成し愛知用水通水。高嶺旭ヶ丘が発足
昭和37年	高嶺地区4地区（大鹿山、緑ヶ丘、舟ヶ谷、旭ヶ丘）で高嶺行政区
昭和40年	名古屋刑務所が三好町に移転
昭和51年	高嶺旭ヶ丘集会所として現在の旭の家が完成
昭和54年	名鉄豊田線が開通
昭和63年	アートヒル三好ヶ丘街開き
平成3年	三好丘行政区が発足
平成4年	三好丘行政区から高嶺旭ヶ丘地区が三好丘旭行政区として発足
平成5年	三好丘旭集会所完成

愛知用水が通るまで、慢性的な水不足で農業には適さない土地だった。

農業以外の土地利用を目指し、住宅地開発誘致の動きが始まる。

URによる福谷地区と高嶺地区のニュータウン建設。「三好ヶ丘」と名前が決まる。



長野県三岳村から移住したころ

■土地の様子

草や低い木しかない土地で、遠くまで見渡すことができた。砂礫層のところを掘ると水が湧き出して、野菜を冷やすのに使った。小学校は北部小学校、中学は三好中学に。刑務所の三好農場の中を抜けて通っていた。

■畑や牧場

畑でできた柿やスイカはとてもおいしく、名古屋の市場に出荷していた。

今のアヴェニール前のあたりに牛舎があり（後に旭グラウンド横に移転）、旭集会所の裏の墓地のあたりには豚小屋があって、豚がたくさん放牧されていた。

三岳村から移転する前から、今の三好丘のヒルズのそばに養鶏農家があった。（現在は移転）

■暮らし

三岳村から家屋や蔵を移築したお宅もあり、現在も残っている。昭和34年に伊勢湾台風が来たが、幸い被害は少なかった。冬は今よりも寒く、和田ヶ池（旭1丁目の北）が凍った年もあった。名鉄開通前は「三好ヶ丘駅を作ってもキツネやタヌキしか乗らない」と言われたことも。

■その後の都市化

昭和51年、今の旭4丁目に砂川衛生プラントを誘致することで、高嶺の集会所を建設できた。砂川プラントの処理水が入る布袋子川（ほてごがわ）は水質がよく、蛍がたくさんいた。

■昔の面影

ニュータウン建設に伴い道路も大幅に作り変えられたが、旭の家の前から豊田へ抜ける細い市道は昔のまま。北側には今も田畑が広がっている。当時は旭グラウンドの北側も高い木はなくて、見晴らしがよかった。キジが今よりもたくさんいたし、ヤマドリもいた。

三好丘旭の気になるムシ

昔は見かけなかったのに最近気になる昆虫やクモがいます。在来種を駆逐してしまう悪いやつもありますが、こちらから手を出さなければ襲ってくることはありません。散歩の途中にちょっとのぞいてみませんか。



キマダラカメムシ



外来の大型のカメムシ。愛知県内では 2011 年に確認。当地区では数年前から急速に増えている。

サクラ、アオギリ、ヤマボウシ、コブシなど、遊歩道の街路樹でたくさん見られる。



腹部が黄褐色



キマダラカメムシ若齢幼虫



キマダラカメムシ幼虫

ホシミスジ



翅の裏の黒い点が名前の由来

ユキヤナギやコデマリで幼虫が育つ。愛知県では東部山間部の蝶だったが、当地には 5 年ほど前に現れて急増中。温暖化に伴って北上する虫は多いが、南下したのは人為的要因かも…。

ムネアカハラビロカマキリ

在来種のハラビロカマキリとの違いは、カマの部分の黄色いイボの数。7~8個ある。



夜は眼が赤い

外来の大型のハラビロカマキリ。当地区には 5 年ほど前に侵入し、当地区の在来ハラビロカマキリは激減。中国産竹ぼうきに卵がついて拡大とも…。

タイワンタケクマバチ

花の横から口を差し込んで蜜を吸う。蜜泥棒。

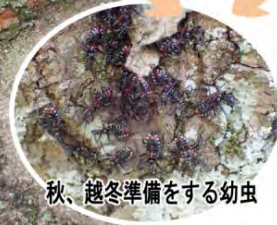


クマバチを真っ黒にした感じの外来の大型のハチ。2006 年に豊田北部に侵入し中部・関西に広がった。枯れた竹に巣を作る。中国産の竹についてきた。

ヨコヅナサシガメ



脱皮直後は真っ赤なのでよく目立つ。



秋、越冬準備をする幼虫

サクラやケヤキに多い外来種の大型のサシガメ。昭和の初めに九州に侵入し、徐々に北上して現在は関東まで広がっている。毒はないが、刺されると痛い。秋から冬の時期は集団を作り、固まって越冬する。

アオマツムシ



翅をふるわせて鳴くオス



1970 年代から増え始めた外来のマツムシ。チンチロリンと鳴く在来種のマツムシとは別の虫。木の上でリーリーと大音量で鳴くため、当地では夏の終わりからほかの虫の音はアオマツムシにかき消されてしまう。

セアカゴケグモ



卵のう



セアカゴケグモの幼体

国内初確認は 1995 年。愛知県では南部と木曾川流域に多く、当地でも去年の夏見つけた。枯葉をまとめた塊の中に隠れている。攻撃性はないが、不用意に素手でつかむとかまれることも。